
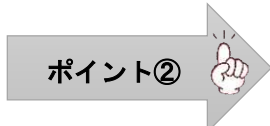


道徳科事例3

主題名 自然を愛護する心

第6学年 D-(20) 自然愛護

- 1 ねらい
兄の取組や愛さんの思いを考えることを通して、自然の尊さを知り、自然環境を大切にしようとする態度を育てる。
- 2 教材名(出典) 「フラスコで育てた花」(教育出版「はばたこう明日へ 小学道徳6」)
- 3 学習指導過程

過程	学習活動と主な発問(○◎)	・予想される児童の発言	□指導上の留意点 ◆評価の視点(方法)
導入	<p>1 レッドリストに載っている生物から3種(マリモ・アカウミガメ・メダカ)が、どんな状況にあるのか知り、本時の学習課題を知る。</p> <p>○この動植物が絶滅の恐れがあると知っていますか。</p>	<p style="text-align: center;"> ポイント①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知っている ・アカウミガメは知っていた ・知らない ・テレビで見たことがある 	<ul style="list-style-type: none"> □よく知る生き物が絶滅危惧種であることを知り、学習への興味・関心を高める。 □児童のつぶやきを参考に、学習課題を提示する。
<p>自然環境を守るために大切なことを考えよう。</p>			
展開	<p>2 教材「フラスコで育てた花」を読んで、登場人物の気持ちや行為について考える。</p> <p>○どうしてお兄さんは栽培に取り組んでいるのでしょうか。</p> <p>◎どうして愛さんは、何かできることはないかと思ったのでしょうか。</p> <p>○自分が愛さんだったら、何ができますか。理由も併せて考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アサヒエビネを助けたいと思ったから ・日本の植物を守りたいと思ったから ・人間の手で壊してしまったから ・お兄さんをすごいと思い、自分も何かしたいと思ったから ・絶滅危惧種を救いたいと思ったから ・人間が壊してしまったから <p style="text-align: center;"> ポイント②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単にできる、緑を守るための募金をする ・自然を増やすことが大切だから、植林活動をする ・絶滅危惧種を調べて、まず現状を知ることが大切 	<ul style="list-style-type: none"> □金網の例えについて、食物連鎖を例にし、補足説明を行う。(電子黒板) □個人で考えさせる時間を取り、全体で共有する。 □種々の意見が出てくるのが予想されるので、意見を分類し、視覚的に整理しやすい板書をする。 □タブレット端末(edutabシステム)を活用し、全体で意見の交流ができるようにする。 ◆愛の思いを、多面的・多角的に考えているか。(タブレット端末、発言) □方法だけではなく、どうしてそのように考えたか根拠を示すように指示を出す。 ◆友達の考えを見たり聞いたりすることにより、自然環境の保全に向けて自分にできることを考えているか。(ワークシート、タブレット端末)
終末	<p>3 本時の学習を振り返る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◆自然環境を守る取組の大切さを自分との関わりにおいて考えているか。(ワークシート)

4 評価の視点

- ・登場人物の行為や気持ちについて、多面的・多角的に考えていたか。
- ・自然環境を大切にすることについて、自分事として考え、自分なりの考えを広めたり深めたりしていたか。

ポイント① 児童が身近に感じることでできる導入の工夫

有名な動植物でなく、身近な動植物を取り上げるとさらに絶滅危惧種が近いものを感じられる。またタンポポやうなぎなど、これまでの様々な教科で学習した題材となっているものを取り上げることもよいと思われる。

写真を提示することで、児童が理解しやすかった。黒板に残しておくことができ、その後の自分の考えをまとめるときにも役に立っているようであった。

本時の前に、他の教科で自然環境について学習している。カリキュラム・マネジメントの視点から、学習をつなげることで、児童がより身近に感じられると考える。

ポイント② ICT機器などを活用した思考の可視化

タブレット端末（edutab システム）を活用することで、個人やグループの考えが可視化され、友達の考えを拠り所に自分の考えを深化させることができた。また、タブレット端末とワークシートを併用したことで、手元に自分の考えが残り、考えの変化や深化の流れを振り返ることができた。しかし、機器が動かないなどのトラブルも想定できる。機器のトラブルを想定した上で活用していくことで、有効な手立てとなる。

児童の学習状況及び道徳性に係る成長の様子

第5回	1 主題名 誠実に生きる A-(2) 正直, 誠実 2 教材名 「手品師」 (教育出版「小学道徳6 はばたこう明日へ」) 3 ねらい 手品師が選択した行動の意味を考えるを通して、誠実に生きることの素晴らしさに気づき、明るく生活しようとする心情を育む。
<エピソード記録> 誠実な行動とは何かを考え、登場人物の行動を考えたり、友達との意見交流を行った中で、一人一人考えが違うことを知った。そして、自分の考えをもって行動する大切さに気付いていた。	
第9回	1 主題名 自然を愛護する心 D-(20) 自然愛護 2 教材名 「フラスコで育てた花」 (教育出版「小学道徳6 はばたこう明日へ」) 3 ねらい 兄の取組や愛さんの思いを考えるを通して、自然の尊さを知り、自然環境を大切にしようとする態度を育てる。
<タブレット端末> 自然の尊さに気づき、人間が大切にしようとしていかなければならないと知った。友達の考えを聞きながら、自分にもできそうなことは何か考えていた。	
第19回	1 主題名 国を愛する心 C-(17) 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 2 教材名 「祖国にオリンピックを」 (教育出版「小学道徳6 はばたこう明日へ」) 3 ねらい 先人の努力や思いを知るを通して、わが国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する心情を育む。
<ワークシートの記述> 先人の努力や思いにふれることで、自分の国はどんな国かと考えることができた。身近なところからできることはないか考えていた。	
自分と他者の考え方や感じ方の違いに気づき、これからの自分の在り方について考えを深めていた。また「社会正義」や「自然愛護」などの学習からは、自分以外の人や物にも目や耳を向けていくことの重要性に気付いていた。	